

## 2 - 1 東北地方およびその周辺の微小地震活動 (1977年11月～1978年4月)

Microseismic Activity in and near the Tohoku District (November, 1977-April, 1978).

東北大学理学部  
Faculty of Science, Tohoku University

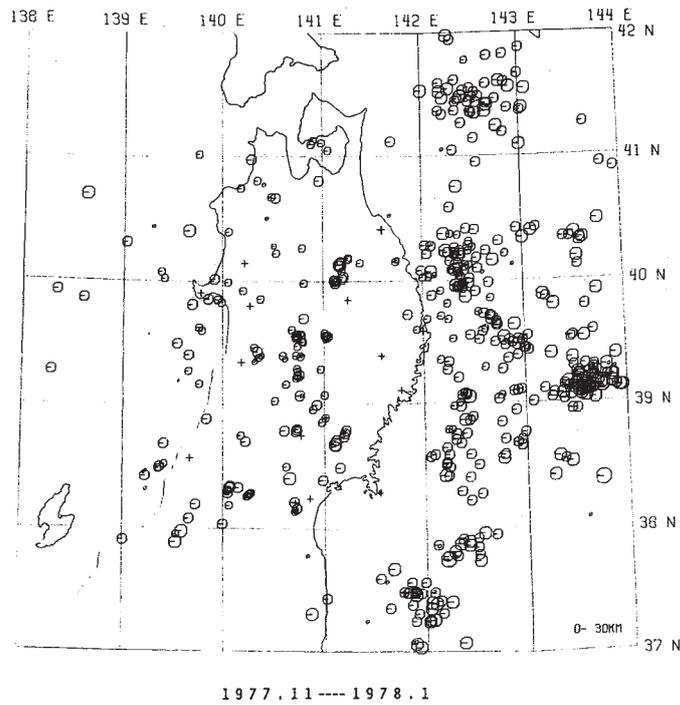
前報<sup>1)</sup>に引き続き、1977年11月～1978年4月の期間における微小地震活動について報告する。

第1図および第2図は、この期間における各3ヶ月毎の浅発地震（深さ30 km以浅）の震央分布図である。38.7°N, 140.7°E付近の活動は1978年2月20日の宮城県沖の地震<sup>2)</sup>に伴って発生した宮城県川渡付近の群発地震である。

第3図は観測網直下38°N - 41°N, 140°E～142°Eの領域内に震源決定された深さ50 km以深の稍深発地震の各観測点におけるP波走時残差を示したものである。1978年2月20日の宮城県沖の地震の余震に対して、宮古および金華山の走時残差は相補的にズレている。

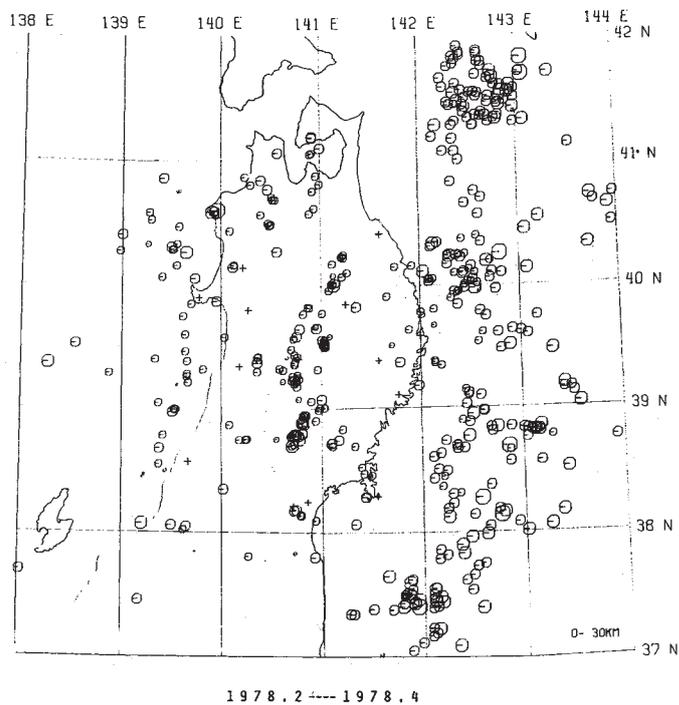
### 参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部：東北地方およびその周辺の微小地震活動（1977年5月～1977年10月），連絡会報，**19**（1978），9 - 11
- 2) 東北大学理学部：1978年2月20日宮城県沖の地震について，連絡会報，**20**（1978），16 - 21



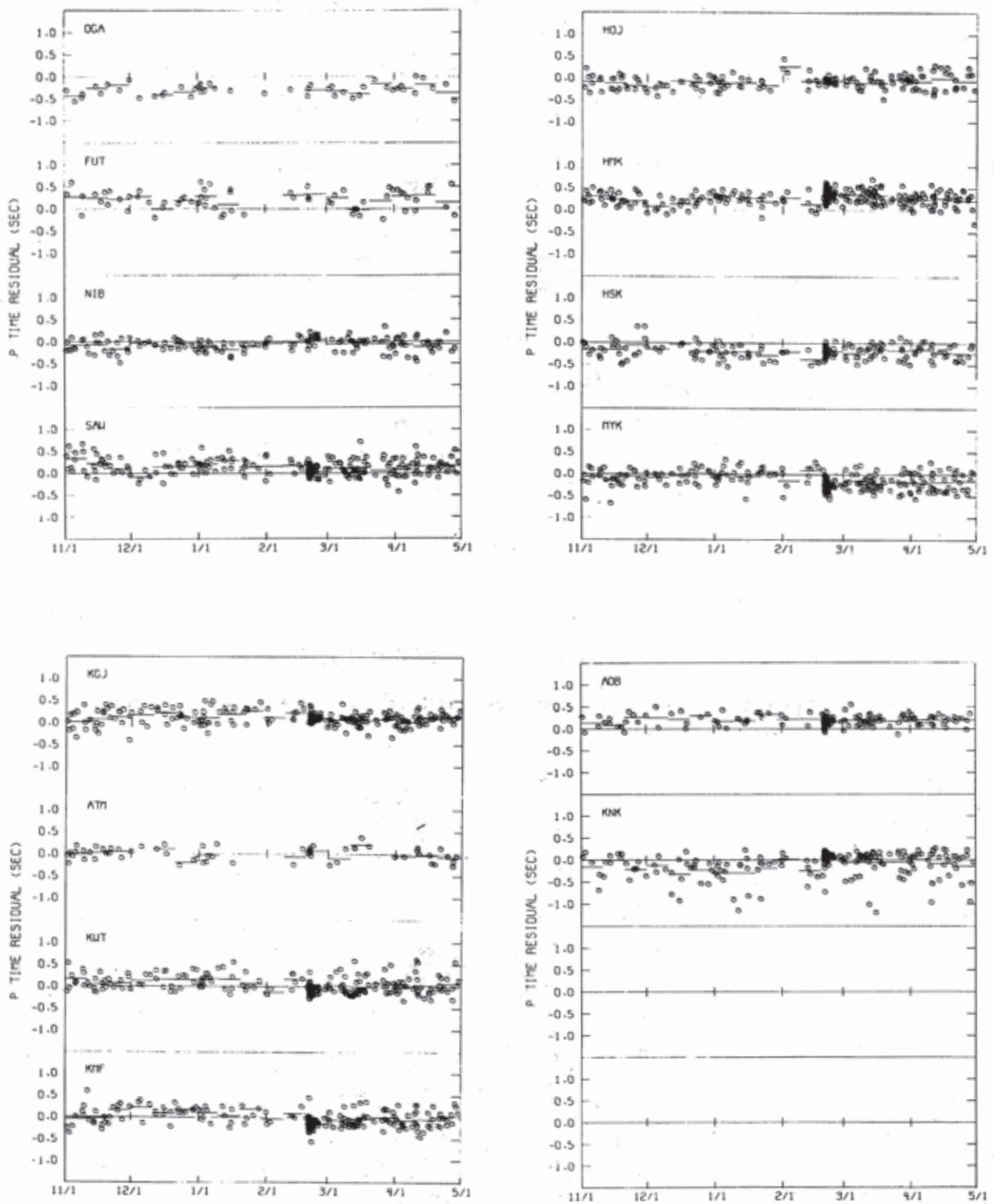
第1図 東北地方における浅発地震の震央分布  
(1977年11月～1978年1月)

Fig. 1 Epicenter distribution of shallow earthquakes in the Tohoku District (Nov., 1977-Jan., 1978).



第2図 東北地方における浅発地震の震央分布  
(1978年2月～1978年4月)

Fig. 2 Epicenter distribution of shallow earthquakes in the Tohoku District (Feb., 1978-Apr., 1978).



第3図 P波走時残差の時間的変化  
 Fig. 3 Temporal variation of P time residuals.